

どんぐりくん

第17回筑波山水源の森づくり行われる

5月28日(日)、絶好の植樹日より恵まれ、第17回筑波山水源の森づくりが行われました。昨年に引き続きの植樹で、リピーターの団体や個人の方々も多く、252名のご参加があり、本当にありがとうございました。詳細は次の通りです。

共催：NPO 法人地球の緑を育てる会、筑波山神社、公益財団法人日本文化興隆財団
協賛（資金支援）：光明山法蔵寺（広島県広島市）
後援：茨城森林管理署、つくば市
植樹面積：350㎡
本数：800本
樹種：シラカシ、ウラジロガシ、アカガシ、スダジイ、タブノキ、コナラ、ヤマザクラ、ユズリハ、シロダモ、ヤブツバキ、サカキ、イロハモミジ（12種）
参加者：252名



植えられる12種の苗見本



苗を運ぶ株式会社ツムラ茨城工場の方々

当会の圃場では、どんぐりを収集、容器苗に仕立て、約2.5年～3年の管理を経て、植樹に適した苗になるまで育苗管理を行っています。また、植樹祭前には、スギ、ヒノキ等の間伐作業も必要です。800本の苗木は、その地の植生から割り出された%で、それぞれの本数が決まり、それらをバランス良く振り分けて、ボランティアの方々により植栽地に運ばれ、植えられます。植え終わると、間伐されたスギ、ヒノキ等の葉を植樹地全体に敷き詰め、その作業は苗木の保護に効果します。植樹地は単体の針葉樹林から針広混交林へと誘導され、より強固な水源の森へと再生されます。



リーダーにより植え方説明を受ける



毎回参加される相模原市からのお父さんと娘さん達
(赤ちゃんだった妹さん、お姉さんと一緒に大きくなりました)



土止めように造成された間伐材の間に植えていく



興味津々、苗木をじっと見入るお子さん



昼食時の和太鼓の演奏(つくばみらい市勸新太鼓の方々)



↑5年前に植えられた苗、既存のスギ林の中で、木漏れ日を受けて健全に生育しています。

←筑波山神社境内(隋心門)にて参加者全員の記念写真



■ご寄付下さった方々ありがとうございました。
 (3月27日~7月24日)(順不同)(敬承略)
 光明山法瀧寺(広島県広島市) 匿名希望の方(神奈川県厚木市) NPO 法人車社会の環境改善協議会 登坂璋典(茨城県日立市) 柴田憲良(千葉県千葉市) 藤田瞳(福岡県福岡市) 太田勝己(愛知県瀬戸市) 室崎和夫(茨城県つくばみらい市) 旗野恵子(東京都品川区) 匿名希望の方(茨城県つくばみらい市) 細井敏宏(茨城県古河市) 町田靖(千葉県松戸市) 檜原功(茨城県古河市) 山本芳男(埼玉県さいたま市)